

高齢者と障害者の自立のための

第42回国際福祉機器展 Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition 2015

会 期：2015（平成27）年10月7日（水）～9日（金）

会 場：東京ビッグサイト 東展示ホール（東京都江東区有明）

出展社数：522社・団体（日本461社・団体、海外61社）※見込み

開場時間：午前10時～午後5時

入 場 料：無料（登録制：当日または事前）

主 催：全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会

【開催内容】（予定）

第42回目を迎える国際福祉機器展 H.C.R.2015 では、高齢者や障害者の自立と社会参加の促進、家庭や福祉施設での介護の質の向上を目的に、杖・車いす・福祉車両、入浴・トイレ、住宅改造機材などの福祉機器、高齢者むけ食品や衣類など日常生活を支えるさまざまな生活用品を総合展示します。

また、福祉・介護・リハビリなどに役立つ最新情報を以下のようなシンポジウムやセミナー、特別企画などの多彩なイベントをつうじて、福祉関係者、企業関係者、そして一般の方々に提供いたします。

①福祉機器約20,000点を総合展示 **WEBにて来場者登録の受付を開始しました！**

②国際シンポジウムを開催（10月8日） **WEBにて参加申込の受付を開始しました！**

テーマ：介護サービス従事者をいかに確保するか？

～ドイツ、米国、日本の比較から今後の課題とその対策を考える

③H.C.R.セミナーを開催（10月7～9日） **WEBにて参加申込の受付を開始しました！**

福祉職から一般、福祉利用者、家族までをそれぞれ対象として、保健・福祉・介護をテーマに連日開催。

④出展社によるプレゼンテーション

⑤H.C.R.特別企画 **本紙にて詳細をご紹介します！**

- (1) 障害児のための「子ども広場」
- (2) ふくしの相談コーナー
- (3) 高齢者・障害者の生活支援用品コーナー ～ いつまでも元気に働く「10のコツ！」展
- (4) 福祉機器開発最前線
- (5) アルテック講座 2015～身の回りにおけるテクノロジー（アルテック）で創る豊かで楽しい生活
- (6) 被災地応援コーナー

その他にも、多彩なプログラムを実施予定。

I H.C.R.特別企画

展示会との併催でホール内の「特設会場」において行う各種特別企画も、さらに内容の充実をはかり、以下の日程・内容にて実施いたします。

○開催日：2015年10月7日(水)～9日(金)（※期間中3日間をとおして設営）

○会場：東京ビッグサイト／東6ホール内（特設会場B、C）、東5ホール内（小間番号：5-09-08）

	テ ー マ	対象者	セミナー、デモの有無	会場
10:00～17:00	【プログラム№10】アルテク講座 2015～身の回りにおけるテクノロジー（アルテク）で創る豊かで楽しい生活	一般、福祉サービス利用者・家族向け	セミナー	特設会場 B（東6ホール会議室）
10:00～17:00	【プログラム№11】障害児のための「子ども広場」	一般、福祉サービス利用者・家族向け		特設会場 C（東6ホール内）
10:00～17:00	【プログラム№12】ふくしの相談コーナー	一般、福祉サービス利用者・家族向け		
～17:00	【プログラム№13】高齢者・障害者等の生活支援用品コーナー～いつまでも元気に働く「10のコツ!」展	一般、福祉サービス利用者・家族向け		
～17:00	【プログラム№14】福祉機器開発最前線	一般、福祉サービス利用者・家族向け	デモ	
～17:00	【プログラム№15】被災地応援コーナー	一般、福祉サービス利用者・家族向け		東5ホール 〔小間番号：5-09-08〕

※会場は変更となる場合があります。

※「セミナー」「デモ」の印の企画の詳細なプログラムについては、次頁以降をご確認ください。

特設会場 B（東6ホール内、ガレリア入口横）

【プログラム№10】アルテク講座 2015 ～身の回りにおけるテクノロジー（アルテク）で創る

豊かで楽しい生活 手話通訳あり

多くの人の身の回りにおけるテクノロジー（アルテク）を用いる事で、障害のある人の生活が大きく変わります。たとえば、印刷物を読めない人でも電子書籍や電子新聞であれば簡単に読む事ができます。音声が使えないためにコミュニケーションに不自由を抱える人もスマートフォンでチャットを楽しみ、アプリを入れれば音声で会話することも可能です。そのほか、鉛筆を持っていないなどの理由でメモをとれない人はICレコーダやデジタルカメラを上手く活用すれば記録がとれるなど可能性は大きく広がっています。

このセミナーでは誰もが日常活用しているスマートフォン、タブレット、パソコン、ICレコーダ、デジタルカメラなどのICT（情報通信技術）製品を、障害のある人の生活や学習支援に活かすアイデアとともに紹介します。

7日 (水)		12:00~13:00 Windows パソコンのアクセシビリティと応用 –アルテクを用いた障害のある人の生活支援– 巖淵 守 氏 (東京大学先端科学技術研究センター)		14:00~15:00 スマホやタブレットのアクセシビリティ –肢体不自由の人がスマホやタブレットを使いこなす– 巖淵 守 氏 (東京大学先端科学技術研究センター)	15:30 - 16:30 アルテクを読み書きなどの学びのツールに変える –アルテクを用いた発達障害や認知障害のある人の生活支援– 平林 ルミ 氏 (東京大学先端科学技術研究センター)
8日 (木)	10:30 - 11:30 障害者差別解消法とアルテクの意味 –合理的配慮の1つとしてのアルテク– 近藤 武夫 氏 (東京大学先端科学技術研究センター)		13:00 - 14:00 障害者雇用とアルテク –障害者雇用現場でのアルテク活用の実際– 近藤 武夫 氏 (東京大学先端科学技術研究センター)		15:00 - 16:00 スマホやタブレットを視覚障害の福祉機器に変える –アルテクを用いた視覚障害のある人の生活支援– 三宅 琢 氏 (東京大学先端科学技術研究センター)
日 (金)		12:00 - 13:00 スマホやタブレットを生活支援ツールに変える –アルテクを用いた肢体不自由のある人の支援のポイント– 渡辺 崇史 氏 (日本福祉大学)		14:00 - 15:00 身の回りにおけるテクノロジー(アルテク)が支援技術に変わる –高齢者や障害のある人の生活支援– 中邑 賢龍 氏 (東京大学先端科学技術研究センター)	15:30 - 16:30 ゲーム用カメラやタブレットのカメラを生活支援ツールに変える –重度肢体不自由や重複障害のある人の生活支援– 巖淵 守 氏 (東京大学先端科学技術研究センター)

※自由参加、定員 90 名、先着順にご案内いたします。

特設会場 C (東 6 ホール内)

【プログラム No11】 障害児のための「子ども広場」

障害のある子どもの発育段階において、福祉機器の利用は成長と生活において大きな可能性を拓けるものです。そこで、子どもむけ福祉機器の開発・普及を目的に「子ども広場」を会場内に設置して子ども向けの福祉機器を総合展示するとともに、福祉機器の利用や療育についての相談コーナーや、保育士が常駐するひとやすみコーナーのほか、新企画「現在も未来も大切です！子どもの住宅改造（肢体不自由・発達障害）相談コーナー」や「子ども広場で広げよう!! 子どもの車いすトレーニング編」などを設けます。

【Ⅰ 福祉機器展示コーナー】

終日展示。展示製品について、下記時間帯に説明を聞くことができます。

	11:00～12:00	13:30～14:30	15:00～16:00
10月7日 (水)	○いす・カーシート ○食事用具・食器／衣類・靴	○学習機器／コミュニケーション機器	○車いす ○バギー・歩行器
10月8日 (木)	○車いす ○バギー・歩行器	○いす・カーシート ○食事用具・食器／衣類・靴	○学習機器／コミュニケーション機器
10月9日 (金)	○学習機器／コミュニケーション機器	○車いす ○バギー・歩行器	○いす・カーシート ○食事用具・食器／衣類・靴

【Ⅱ 相談コーナー】

10月7日(水)	11:00～12:00	13:00～14:30	15:00～16:00
月8日(木)	11:00～12:00	13:00～14:30	15:00～16:00
月9日(金)	11:00～12:00	13:00～14:30	15:00～16:00

※上記の時間帯には、療育相談と福祉機器相談について、それぞれ2名の担当が配置されます。

I～IIへの協力：横浜市総合リハビリテーションセンター

☆現在も未来も大切です！子どもの住宅改造（肢体不自由・発達障害）相談コーナー☆

段差解消機やいす式階段昇降機、リフトなど、住宅の中で使われる福祉機器は、高齢の方や身体障害のある大人が使うものだと思いませんか？このような福祉機器は子どもにとってもたいへん有効です。子どもの身体機能や家族のライフスタイルの変化をよく考えて設計された住宅は、将来にわたって安全で快適な暮らしの実現につながります。このコーナーでは、子どもの住宅改造事例をパネルで紹介し、専門職が相談に応じます。また、昨年に引き続き、知的障害や発達障害のある子どもの住宅改造の事例紹介やご相談もお受けします。

日程：10月7日(水)～9日(金)の各日14:00～16:30に専門職が相談に応じます。

協力：横浜市総合リハビリテーションセンター

☆子ども広場で広げよう!! 子どもの車いすトレーニング編☆

「車いすって疲れる」「うまくいきたいところにいけない」そんな悩みを持っていませんか？正しい技術や乗り方・漕ぎ方を知ればそんな悩みも解消されます。

姿勢が変わるだけで、車いすの操作のしやすさは変わります。漕ぎやすい姿勢に調整・アドバイスをいたします。

ハンドリムの握り方や漕ぐときの腕の使い方にも様々なポイントがあります。今よりもっと楽に、早く、遠くに。自分の力で動きたいというお子さまの世界を広げるために正しい技術をお伝えします。各メーカーの車いすも試乗できます。ご家族でぜひご参加ください。

日程:10月8日(木) 参加定員:15名(事前申込制)

プログラム：①12:45～13:15 車いす試乗・調整 ②13:15～15:00 車いすトレーニング

③15:00～15:20 商品紹介

協力：横浜市総合リハビリテーションセンター、一般社団法人日本リハビリテーション工学協会

※機器の試乗を希望される方は事前にお申込みが必要です。子ども用車いすの展示は3日間終日実施します。

【お問合せ・お申込み先】一般社団法人日本リハビリテーション工学協会

E-mail：resja@resja.or.jp / <http://www.resja.or.jp/>

<事前申込締切日：9月25日(金)>

【Ⅲ ひとやすみコーナー】

保育士が常駐しています。広場のおもちゃを使って子どもたちと遊んだり、保護者（親）のみなさんと子育てについてお話ししましょう。

Ⅲへの協力：東京都社協保育士会

【プログラム No12】 ふくしの相談コーナー

技師、作業療法士などの専門家が、福祉機器や自助具に関わる来場者の相談に無料で応じます。

運営協力：日本作業療法士協会、大阪府肢体不自由児協会大肢協ボランティアグループ自助具の部屋

【プログラム No13】 高齢者・障害者等の生活支援用品コーナー

～ いつまでも元気に働く「10のコツ！」展

福祉機器には、高齢者や障害のある人の生活をさまざまな場面で支援するための工夫が詰まったモノが沢山あります。

さまざまな生活場面の中でも、人々の生活を支え、健康、生きがいに繋がっているのが「働く」場面です。日本はどの国よりも早く超高齢社会をむかえ、経験を重ね、ネットワークが広い熟年の方々は、今後ますます「働き手」としての需要が高まってきます。

では、いつまでも元気に働くには、どのようなコツがあるのか、また、どんな道具が支援してくれているか、多くの「働く高齢者」からのアンケートを元にしてこのコーナーを企画しました。

来場される方々に、「いつまでも元気に働く」ことについてこのコーナーで体感していただけたらと願っています。

- 「いつまでも元気に働くコツ」…働く高齢者から寄せられた「コツ」紹介
- 「いつまでも元気に働くためのモノ」…健康管理はこれで
- 「いつまでも元気に働くためのモノ」…通勤も快適(衣服・靴・鞆)
- 「いつまでも元気に働くためのモノ」…鞆に入る7つ道具
- 「いつまでも元気に働くためのモノ」…職場で威力を発揮

ご覧いただいたように実は普段使っているモノのなかにも、アイデア次第で「いつまでも元気で働く」を支援するいろいろな工夫があります。どうか、手にとって、試してみただけいたらと思います。

きっと、なかには、家族やお友だちに紹介したくなるモノもたくさんあるはずです。展示品を参考に、「いつまでも元気に働き、しかも楽しく働く」人が、一人でも増えることを願っています。

企画・監修：共用品推進機構、運営ご協力：高齢社・かじワ、ブライト

【プログラム No14】 福祉機器開発最前線 (デモンストレーションに手話通訳あり)

企業・研究機関の研究開発、試作状況などの情報提供や紹介の場として、最新の機器や製品の展示及びデモンストレーションを行います。

今回は、経済産業省のロボット介護機器開発・導入促進事業や厚生労働省の障害者自立支援機器等開発促進事業の対象製品を含む合計 12 点の展示及びデモンストレーションを予定しています。

なお、具体的な展示製品などについては、今後のプレスリリースでお伝えいたします。

【プログラム№15】被災地応援コーナー

昨年に引き続き、東日本大震災で特に被害の大きかった東北3県（岩手県、宮城県、福島県）のセルフ（障害者授産施設）の製品を販売いたします。

注1) 題名の横に「手話通訳あり」マークのついたプログラムは、手話通訳を行います。

注2) 各プログラム名の後の【 】内の数字は、プログラムNo.です。会場内でプログラムについてお尋ねの際などには、No.の数字をお申し出ください。

アクセス／ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

- A ゆりかもめ 国際展示場正門駅下車 3分
- B りんかい線 国際展示場駅下車 7分
- C 路線バス 東京ビッグサイト下車すぐ

H.C.R.2015 新製品の紹介／福祉機器ガイドブックより

アイカ工業㈱ メラミン不燃化粧板 消臭・抗菌タイプ：セラール消臭セルサス【福祉施設・住宅環境設備・用品】
価格：23,760円／枚・3×8 (10,440円／㎡)

～消臭と抗菌機能を有した不燃壁素材で、トイレ等に最適です～

医療・介護施設で気になる排泄臭、加齢臭の原因物質を低減。抗菌仕様でクリーンな空間づくりをサポートします。

※消臭：当社従来比。臭いを消滅させる効果ではなく、低減させる効果です。また、化粧面の端部をR加工した「セラールRエッジ」は、ひっかかりもなく、安心・安全です。

(有)アキテック いちどこ【ベッド用品】

価格：お問い合わせください

～床ずれ防止用見守り布センサー「寝返り・寝起き・離床」～

介護施設などでの人手不足は深刻なものとなり、介護サービスの低下を招きます。新開発の「いちどこ」は柔らかい布センサーを使用して寝起き、左右の寝返り、離床を自動的に検出して、それぞれの状態と動き開始からの時間をお知らせします。床ずれ、徘徊の防止と人手不足による介護サービスの低下を防ぎます。

アビリティーズ・ケアネット㈱ 移乗リフト ささえ手【移動機器】

価格：298,000円〔非課税〕

～介助者にかわり「抱き起こす、支える」動作を行う手動式リフト～

安全で、操作しやすく、導入しやすいことをポイントに開発した手動式移乗リフト「ささえ手」です。端座位から無理なく半立位へ誘導します。ベッド～車いす～トイレへの移乗がスリングシートを使わずに容易に行えます。半立位姿勢を維持できますので、下半身部分の脱衣に最適です。

㈱イーストアイ セーフティーアームロータ SPタイプ【移動機器】

価格：41,040円

～たくさんの荷物を持ち運びできる大型カゴ付きの歩行車～

付属の大型カゴは、33リットルまでのショッピングカゴを置くことができるので、お買い物の際、お店の入り口などでカートに持ち替える必要がなく、自分の歩行車のままお買い物が可能。箱ティッシュ等のかさばる荷物を、シルバーカーや車いすの座面を荷台代わりに使われている方におすすめ。疲れた時に座れる座面付き。

㈱ウィズ キュラコ【トイレ・おむつ用品】 **価格：831,600円**
～自動排泄処理装置～

介護負担の高い排泄処理を自動化。排便、排尿を自動で感知し、吸引、洗浄、乾燥します。本体またはリモコンで操作し、自動、手動の切り替えも可。カップ自動洗浄、温風乾燥システム。排便の回数表示。

㈸ウインド やじろべえ【日常生活支援用品】 **価格：3,240円**
～手品？ 簡単に使えるのに普通の箸を使っているように見えます～

箸を持ったときに手の中で安定させるグリップを合体し、その部分にバネを仕組みました。使うときにはグリップ部分が手の中に隠れ、2本の箸が際立ち、周りからは普通の箸を使っているように見えます。

㈱ウェルハーモニー トロミーナ レギュラータイプ【介護等食品・調理器具】 **価格：オープン価格**
～粘度の経時変化が少なく、安定したトロミを形成します～

・無味無臭でキレがよく、溶かす素材の味を損ないません。 ・冷温どちらのお料理にも使用が可能です。
※ハイパータイプとソフトタイプもあります。

LLPアトムプロジェクト 下肢のリハビリ補助機器「パワーアシストレッグ」【リハビリ・介護予防機器】
価格：お問い合わせください

～自らの意志で行う足首のリハビリを安全にアシスト～

足首の屈曲・伸展運動をアシストするリハビリ補助機器です。脳の障害や骨折などからの動作回復・筋力回復リハビリを補助します。ベローズ（空気袋）機構の採用や必要な関節だけをリハビリできることなど、安心・安全なリハビリを補助します。施設・在宅どちらのリハビリにも、寝たきりのままでのリハビリにも対応しています。

㈱今仙技術研究所 EMC-620・630型【移動機器】 **価格：お問い合わせください**
～移動手段としてだけでなく、生活パターンがさらに広がります～

前輪キャスタ後輪直接駆動方式。座面が電動で8cmから80cmまで上昇しますので、床および高い所にも手が届きます。日常生活の空間を最大限に利用でき、立体的な生活ができます。視線が健常者と同じ位置になり、会話ははずみます。

㈱カインドウェア ロールトワレ【感染症等予防用品】 **価格：2,808円（20枚入）**
～高品質吸収パッド入り簡易トイレ 感染症対策や防災備蓄に～

ポータブルトイレや差し込み便器でお使いいただける簡易トイレです。ポータブルトイレの洗浄が不要になり、介護者の負担を軽減します。

- ・ロール状になって箱に収納
- ・一枚で約450ccの排泄物を吸収
- ・災害、断水時の簡易トイレとして防災備蓄に

大和ハウス工業㈱ 卓上型対話支援システム comuoon（コミュニケーション）【コミュニケーション機器・見守り機器】
価格：210,600円、TypeBP、本体価格

～「聴こえやすい」を、みんなのあたり前に～

医療や福祉、教育現場など、私たちが難聴者の方と接する機会は日常の至るところに溢れています。そんなとき comuoon があれば、話し手と聴き手の双方に大声で会話をするストレスを与えず、気持ちの良い円滑なコミュニケーションが可能に。いま comuoon は、様々なシーンで活躍の場を広げています。

㈱タカラトミー OHaNAS（オハナス）【コミュニケーション機器・見守り機器】 **価格：21,384円**
～NTTドコモと共同開発、自由に何でも話せるロボット！～

NTT docomo の「しゃべってコンシェル」技術を活用したクラウド型おはなしロボット。
童謡を歌ってくれたり、様々なおはなしを聞かせてくれるので、高齢者も含めた家族のお話し相手になるコミュニケーションロボットです。

また、目がLEDになっており、目の色で話すタイミングがわかりやすくなっております。

㈱トレイル うららかGPS ウォーク【コミュニケーション機器・見守り機器】 **価格：7,560円**
～GPS機器を内蔵することが出来る靴です～

介護現場の声により誕生した“うららかGPSウォーク”は、「かんたん位置情報サービス」を利用したGPS機器内蔵可能シューズです。

テクノツール㈱ iEAT【日常生活支援用品】 **価格：お問い合わせください**
～自分で食べる楽しさを手に入れよう！～

iEATはパーキンソン病や多発性硬化症、また、老化による上肢機能の低下や震えをカバーし、自分自身で食べることを可能にします。

㈱デベロ 簡易浴槽 FL-8M【入浴用品】 **価格：お問い合わせください**
～医院・施設・在宅へ工事のいらない浴槽～

施設、在宅を問わず、簡単にご使用いただける浴槽です。訪問入浴介護で培った安心設計で、快適な入浴が提供できます。浴槽の高さを変えることで、作業の負担軽減を実現。キャスター付きで、ストレッチャーいらず。浴槽部、フレーム部が分離し、フレーム部は折り畳むことで、コンパクト収納を可能にしました。

㈱766 Attitude Manual【移動機器】 **価格：お問い合わせください**
～新たなレクリエーションツール～

サイクリングなどで風を切って景色のよい場所を走るととても爽快です。20インチの前輪と30速ギアは最適なドライブパフォーマンスを提供します。

また、ディスクブレーキはスムーズな速度制御が可能。取り付け方は4点ドッキングシステムになります。

軽量で簡単に操縦できるマニュアルハンドバイクはアクティブなあなたの車椅子に理想的です。

フランスベッド㈱ アームプラス AP-02 (自動抑速ブレーキ付)【移動機器】 **価格：98,000円〔非課税〕**
～体に一番合う形で歩行をサポートします～

上腕サポート台及びハンドルはそれぞれ角度の調整が可能のため、身体に一番合う形で歩行をサポートします。やさしい縦型ブレーキ付きなので、手の握力の弱い方に最適です。自動抑速ブレーキ付きで、急加速による転倒の危険を防ぎます。

㈱ルミナスジャパン アクティブギプス【義肢・装具】 **価格：お問い合わせください**
～上肢に障害を持つ方を対象とした自立支援用装着型ロボット～

腕を伸ばす力が無くても、肩の力を手先に伝達し、不整地や傾斜地での車椅子操作、プッシュアップ動作などを可能としてくれます。リハビリ効果により、残存機能の維持向上が期待できます。

*上記の製品は、H.C.R.2015 福祉機器ガイドブックにお申込みいただいた新製品のなかから、掲載内容が確定したものを順次社名アイウエオ順で紹介したものです。特段の選考によるものではありません。

※注1：内容や日程は予告なく変更する可能性がありますので、ご来場の際は最新情報をご確認ください。

※注2：各プログラムへの最新のご参加内容については、H.C.R. Web サイト(www.hcr.or.jp)で順次ご案内します。

<p style="text-align: center;">H.C.R. 2015 事務局 (一財)保健福祉広報協会 〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5F TEL. 03-3580-3052 FAX. 03-5512-9798 http : //www.hcr.or.jp</p>
--